

保育實習の指導

保育實習指導は高等女學校保育實習の場合には素より、隣組保育といつたやうな問題に對しても、今日の急務になつてゐる。師範學校の場合は専門的であるが、その他は決戦下の必要として

一般に要求せられる。又現に要求せられ實行せられてゐる。その實習指導の用意について此の號を特輯した。おのづから保母諸君の實際保育の上にもお役に立つと思ひつゝ。(編輯子)

保育實習指導概要

倉橋惣三

實習指導の要諦

指導の對象は高等女學校の生徒、すなはち、保育の未経験者であり、又その目的も必ずしも保育専門家になることを志ざしてゐるものでもない。といふと如何にも指導甲斐が少ないやうであるが、國の幼兒を大切にすることの意味はよく分り、子どもといふものへの情愛も、人間常識も一通り發

達してゐる年頃である。保育指導の手が、りは充分具つてゐるといつてよい。そこで、保育指導の大もととして、先づ、國の幼兒の大切さといふことを、しっかり理解させることが必要であるが、それを觀念的に明確にするのは豫備講話ですることとし、實は、保育の實際の中で、その信念が實踐的に強化せられなければならないので、たと觀念として終つてはならないので

ある。現に實際に大切にしていることで、それが信念化せられなければならない。自ら大切にする任にあたらないうで大切だくと論ずるだけではなんの眞實もない。

保育指導の大もとの第二は、幼兒の保育法の要諦を把握させることであるが、これも普遍的な保育理論から導いたり、餘り細い保育技術を初めから授けたりするよりは、生徒自身が教養ある青年女性として持つてゐる幼兒への情愛と常識とを、素直に、殊にみづ／＼しく發揮させることから出發したい。理論や方法の普遍規格のみを氣にして、どうすべきか、どうしなければならぬのかといつた風な思案ばかりさせて、折角の情愛と常識とを抑へさせたり閉ざさせたりしてはならない。殊に、そんな形式的指導に過ぎて、情愛のあたゝかさもなく、常識のなま／＼しさもない、「冷いから誤らない」といつた辭をつけては大變悪いことである。その意味で、眞の指導は、幼兒の前に女生徒を一げいに生きて動かすのでなくてはならない。従つてまた、技術として下手でも、方法として多少間違ひをしても、ほんとうにその子への情愛と自分の常識が